

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名		第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課 幼保連携推進室	
総合計画体系				根拠法令 計画など	子ども・子育て支援法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 ▼ 30 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと				終期
(小項目)	子どものまち					
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援				
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 就学前児童及びその保護者 放課後児童健全育成事業を利用する小学生及びその保護者 子ども・子育て支援事業者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市で育つ子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境整備のより一層の充実を目指す。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	子育て当事者の潜在ニーズを含めたニーズを把握するため、就学前児童の保護者及び小学校3年生までの保護者を対象にニーズ調査を実施。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の策定	-	20	100	-	-	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	広く有識者、関係団体及び子育て当事者の意見を事業計画に反映させるために、鳴門市児童福祉審議会を2回開催した。 また1月には、本市で確保すべき教育・保育・子育て支援に関する「量の見込み」を算出するため、鳴門市内の就学前児童及び小学3年生までの児童の保護者を対象にアンケート(ニーズ)調査を実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標	1 鳴門市児童福祉審議会開催回数	-	2	5	2	2	回
	2						
成果指標	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の策定		20	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	2,000	2,000
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	2,000	2,000
		決算額	0	0	0	0	1,668	1,668
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		0.2	0.0		1,464		3,132	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画策定事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	-	1,668	2,878	-	-
	うち一般財源	-	1,668	2,878	-	-
	人件費	-	1,464	7,321	-	-
	総事業費	-	3,132	10,199	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		支援事業計画に反映させるためのニーズ調査を計画どおり実施することができ、次年度計画策定業務につなげることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		ニーズ調査の事前準備で調整等に時間を要したこともあり、余裕のない調査スケジュールになった。
②成果に対する評価	指標名	第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の策定		平成30年度の目標としていた、ニーズ調査の実施及び鳴門市児童福祉審議会を開催し、計画策定に係る調査審議をすることができた。
	目標	20	%	
	実績	20	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		目標は達成できたが、効率性に向上の余地があったため、B評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>本計画は、子ども・子育てに関する支援事業を包括的に計画するものであり、関係部署と綿密な連携を図る必要がある。</p> <p>また、子ども・子育て支援事業計画における数値目標等の設定では、幼児教育無償化の影響や子育て環境・保護者ニーズの変化への対応など、本市の実情に即したものとなるよう精査する必要がある。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	ニーズ調査の結果に基づき、第2期子ども子育て支援事業計画を年度内に策定する。計画策定に際しては、鳴門市児童福祉審議会を開催し、計画内容について調査審議する。			
	R2年度	策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、鳴門市児童福祉審議会において本市の子育て事業の推進及び進捗確認を図る。			